



香川県防災士会 会報



第 25 号 2018.7

あっという間に今年も後半戦。年始は、「一月はいぬ・二月はにげる・三月はさる」と表現しますが、そのあとも同じように表現できる妙案ありませんか？

四月はしまった(ムク)・五月はごめんなさい m(_ _)m・六月は夢遊病ではないのですが…七月になってました。。

遅くなり申し訳ございません。久しぶりの会報発行に、四月以降の心境を書かせていただきました。

去年は、雪害に始まり地震、台風被害、霧島山の噴火等多くの自然災害に見舞われました。そして平成 29 年九州北部豪雨で福岡・大分両県で甚大な被害が発生しました。そこに家があったのか、集落があったことすら想像できない地域がたくさんありました。

今年も、この半年ですでに多くの災害が発生しています。大分県耶馬溪の土砂災害、大阪北部地震、そして平成 30 年 7 月豪雨。いずれも尊い命が失われています。

今一度原点に立ち戻り、「なぜ防災が大切なのか。何を伝えたいのか」を伝えていけるよう、地域に根差した活動をお願いいたします。

♪今回は、報告6件です♪

【平成30年度総会：久保 雅和】

平成30年香川県防災士会総会は無事終了いたしました。

防災士認定者は全国で15万人弱、香川県でも1,994人となりました。香川県防災士会の会員も今年度は350名弱に達しようとしています。

さて、昨年は10周年を迎え11月3日に記念式典を開催し、香川県知事 浜田様、香川大学学長 寛先生、香川県教育長 工代様、各市町首長などにご臨席いただき、盛大に開催する事が出来ました。そして当会に功労のあった3団体(香川大学危機管理センター、香川県防災士会東讃支部、同中讃支部)、4個人(土居哲男、井上耕治、高橋真里、久保雅和)に感謝状を授与いたしました。

また、昨年度は日本防災士機構から香川県防災士会が功労賞をいただきました。これも会員皆さまの日頃の活動の賜物と思われます。今年2月には日本防災士会四国連絡協議会が発足し連携を強めています。

一昨年から2年間かけて8回実施した地区防災計画スキルアップ研修も終わり、会員のスキルアップに貢献しました。日本防災士会から地区防災計画に関する解説資料(CD)とDVDが送付され各支部にお渡ししているの、研修結果と合わせて地区防災計画の実施に活用して地域に根差した防災士を目指してほしいと思います。

今年の学校防災アドバイザー派遣事業は24校27回実施予定。また香川県危機管理課から避難所開設に関するマニュアル作りのモデル校2校(牟礼南小学校、高瀬高等学校)に参画作成、今後の学校避難所マニュアルの指標となると思われます。

東讃支部では行政が育成した防災士の継続教育について昨年度の東かがわ市に引き続き、さぬき市とも協定書を締結いたしました。中讃支部では丸亀市自主防災連絡協議会の発足に伴い副議長(岩崎富夫氏)に就任、まんのう町では町内の防災士が集合して4月に防災士連絡協議会の発足をいたしました。

一方で昨年度は会報が一回も発行できなかったことについては大変申し訳ございませんでした。今回が久々の発行になりますが、よろしくお願ひします。

今年度も30年度事業報告に記載のようにスキルアップ研修を実施し、減災に向けて地区防災計画の推進と地域に根差した活動をめざし、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思ひます。

<日本防災士会四国支部連絡協議会> 【副会長：多田 邦夫】



日本防災士会では平常時の情報交換、災害時の協力体制の構築等を目的に各地域でのネットワークづくりを目指しております。現実に熊本地震が発生した際には隣県の大分県他九州支部が窓口となり、被災地熊本県等を支援しました。このように大規模災害になればなるほど近隣地区を中心とした応援受援体制の確立が必須事項になっております。以上のこと等を目的に平成30年1月に日本防災士会四国支部連絡協議会が発足しました。南海トラフ巨大地震対策等四国4県の共通課題に対する対策を四国4県支部の実質的な協力により良い防災・減災活動の一翼を担いたいと思っております。会員の皆様方の協力・支援をよろしく申し上げます。

<地区防災計画部会> 【地区防災計画推進委員：近藤 騰】

「地区防災計画」の取組みについては、平成28年度から香川大学 地域強靱化研究センターの磯打先生を講師に研修会が開催されました。また、平成29年度は、太田南コミュニティ協議会、弦打校区コミュニティ協議会・弦打地区社会福祉協議、丸亀市土器町「住みたくなるまち土器」での取組み状況について防災士勉強会を通じて報告させて頂きました。

ここで、もう一度、地区防災計画について、整理いたします。

これまで、防災計画としては国レベルの総合的かつ長期的な計画である防災基本計画と、地方レベルの都道府県及び市町村の地域防災計画を定め、それぞれのレベルで防災活動を実施してきました。

残念ながら、東日本大震災においては、「自助」、「共助」及び「公助」が単独では機能しない事、特に「公助」においては救助する側の人々が被災するなど、改めて大規模広域災害におけるそれぞれの役割が再認識されました。

そのため、平成25年の災害対策基本法では、「自助」及び「共助」に関する規定がいくつか追加されました。その際、地域コミュニティにおける「共助」による防災活動の推進の観点から、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者（地区居住者等）が行う自発的な防災活動に関する地区防災計画制度が新たに創設されました（平成26年4月1日施行）。

まずは自分自身が生き延びることは当然です。さらに、災害発生時には自治体や消防、自衛隊などの「公助」が行われますが、すぐには自分たちには届かないものです。そのため、やはり助けになるのはご近所の方々であり、この地域住民が協力する「共助」こそが、減災に大きな役割を担います。

昨年度、私は「住みたくなるまち土器」において、防災を通じた自治会の活性化の活動の支援をさせて頂きました。一部では、その成果が見られるものの、自治会の在り方についても突っ込んだ意見交換が必要な場面もあり、活動の難しさを感じています。

今後、「地区防災計画部会」においては、各地区での事例収集や発生した問題への対応について整理し、これから地区防災計画を作成される地区の防災士の皆さんに情報提供することで、それぞれの地域でよきアドバイザーとして活躍されるようご支援をしてゆきたいと考えております。

今後の行事予定

平成30年7月豪雨被災地支援活動を計画しております。決まり次第ご連絡いたします。

8月10日 スキルアップ研修【災害体験センセーション～災害を疑似体験してみよう～】
会場：香川県社会福祉総合センター7階第一中会議室
時間：18:30～20:30

他、各支部で予定されている事業、イベントもありますので、都合のつく方はご参加ください。

連絡事項

- ※ 帽子・名札をお渡し出来ていない方はお知らせください。
- ※ インターネット環境が手元にない方のみ郵送（会報及び総会の連絡）させていただきますが、メール受信やHP閲覧等が可能になりましたら、ご連絡下さい。
- ※ 行事予定などありましたら、ご連絡ください。
- ※ 事務局メールアドレスの登録をお願いいたします。
特に、携帯電話で受信されている方は、必ず指定受信の設定を行ってください。

<お詫び>

事務局のメールアドレス宛にメールをいただいておりますが、不具合が発生しテイル場合があります。対応し改善していたのですが、6月頃から以前とは異なった事象が発生しております。事務局にメールをいただいてから2週間たっても回答がない場合は、携帯までお問い合わせください。ご面倒おかけいたしますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

kagawa-bousaishi@hotmail.co.jp

香川県防災士会事務局長：高橋真里
090-8753-0593（18時以降）
kagawa-bousaishi@hotmail.co.jp